



明るく住みよいまちを目指して

美浜町議会議長
崎元 良栄

議会



「地域愛」あふれる うま 美し美浜を目指して

美浜町長
戸嶋 秀樹



行政

新 年明けましておめでとございます。美浜町の皆さまにおかれましては、ご家族おそろいで新しい年を健やかに迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。旧年中は、私どもの議会活動に深いご理解と温かいご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

美浜町議会は、更なる資質の向上に向け努力しております。今後とも、皆さまの変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成から令和となった昨年には、台風や豪雨等、大きな自然災害が全国各地で発生し、多くの尊い人命や財産が奪われました。当町におきましても「災害に強いまちづくり」を推進する必要性を改めて感じているところであります。

さて、昨年3月には戸嶋町長が就任されました。「みんなで創ろう幸せと誇り・夢と希望・地域愛あふれる『美し美浜』」を基本理念に、まちづくりに力を入れた施策に取り組んでおられます。議会におきましても、各種団体を対象とした「議会と語ろう会」を町内6会場において開催させていただきました。皆さま

明 けましておめでとございます。町民の皆さまには、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

現在、美浜町では令和5年春の北陸新幹線敦賀開業を見据え、皆さまのご理解をいただきながら、JR美浜駅前に、美し美浜を体感できるにぎわいの交流拠点として飲食施設や農林水産物直売所、子育て交流施設やイベント広場等を備えた地域づくり拠点化施設（道の駅）の整備を進めているところでございます。

昨年は「食」による健康づくりの拠点として、健康楽膳拠点施設「こるば」をオープンし、タニタカフェとの共同開発メニュー等の提供を開始したほか、付近に美しい景観を築き上げるウォーキングコース、ランニングコースを整備しました。

また「クールジャパンアワード2019」恋人の聖地 地域活性化大賞「審査員賞」という2つの大きな賞を受賞したレインボーラインは、今春にリニューアルを終える予定で、三方五湖の壮大な景色がゆつくり楽しめる空間へと生まれ変わります。さらには、再生可能エネルギーを活用した新たな遊覧船「電池推進船」の開発を行う等、これまで以上に「三方五湖ゾーン」「新庄山里ゾーン」「敦賀半島西海岸ゾーン」をはじめとした地域の魅力向上に取り組んでまいります。

次に、まちづくりの3本の柱の主な取り組みについて申し上げます。

からいただいた貴重なご意見やご要望は、各議員が受け止め、議会での政策提言に生かし、町行政に反映させていたしております。今後、皆さまとより良い意見交換ができるよう、創意工夫しながら続けていきたいと考えております。

また、町で整備を進めております「地域づくり拠点化施設（道の駅）」につきましては、地域住民の交流拠点、地域づくりの拠点として、誰もが楽しく集い、まちににぎわいをもたらす施設となるよう議会としても意見してまいります。更には、協働のまちづくり、明るく住みよいまちづくりを推進し、町民の皆さまの未来のために、町がどうあるべきかを議会一丸となって考えていきたいと思っております。

次に、関西電力(株)美浜発電所については、3号機の運転期間延長や1・2号機の廃炉等、発電所に関わるさまざまな動向に目を向けながら、安心・安全の確保に一層努めてまいります。

私たち議会は、町民の代弁機関、最終意思決定機関として、果たすべき役割と責任を自覚し「みんなで創るまちづくり」「地域の魅力を生か

一つ目は「住んでいることに幸せと誇りを実感できるまちづくり」です。

昨年、町内の小学6年生の児童が町の未来について提案を行う「ふるさと美浜元気フォーラム」が開催されました。子どもたちが、地域との交流を通して町の良さや課題について主体的に探究する活動は、地域を「誇り」に思う「地域愛」の醸成につながるから、今後取り組みを進めてまいりたいと考えております。

二つ目は「夢と希望・活気あふれる産業を育むまちづくり」です。

昨年、建設用機械器具等のレンタルを行うエスアールエス(株)美浜営業所が「松原産業団地」に開所しました。「若狭美浜インター産業団地」では2社が操業しておりますが、地域の雇用を生む企業をさらに誘致するために企業誘致セミナーを開催する等、本町の魅力や立地環境の利便性・優位性、優遇制度等を積極的にPRしてまいりたいと考えております。

また、農林水産業や商工業がしっかりと息つき、次代を担う若者が夢と希望を持って取り組める産業を育むため、昨年は農業の担い手や若手商工業者の皆さまと幅広く議論を交わしました。いただいたご意見は今後の施策に反映してまいりたいと考えております。

三つ目は「誰もが訪れたい・住みたい・住みたくなる・応援したくなるまちづくり」です。

先般、若手の町職員で構成する検討委員会から町の課題解決や魅力向



↑道の駅完成イメージ図(2022年春オープン予定)

したまちづくり」に積極的に取り組んでまいります。

まちづくりの主役は皆さまです。皆さま方と一緒に、これからのさまざまな町政の課題解決に向けて全力を尽くしてまいりますので、本年も町議会に対し変わらぬご支援、ご指導をよろしくお願い申し上げます。

新しい年が、皆さまにとって実り多き年となりますことを心よりご祈念致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

上を図る取り組みについて提案を受けました。これは、町にゆかりのある人やふるさと納税をいただいた方等、町外に住みながらも本町に愛着を持ち町の活性化に支援をいただける人を「応援人口」と位置付け、相互に交流を図るというものです。人口減少が進む中で新たなまちづくりの仕組みとして、関係各課の連携のもとに実現を図ってまいりたいと考えております。

さて、昨年は各集落を順次訪問する集落別対話「地域あいあい」ほっとミーティング」を開催し、地域や集落で抱えるさまざまな課題を共有させていただきました。対話では、各集落で将来に向けた議論を深めていただく中で「集落元気プラン」の取りまとめについてご提案いただきました。行政としても、集落の課題解消等に向けた支援のあり方を検討し、町民の皆さまとの協働による幸せと誇りを実感できる「まちづくり」の実現につなげてまいりたいと考えております。

現在、関西電力(株)美浜発電所では1・2号機の廃炉作業や3号機の安全対策工事が進められております。町では、安全を最優先に作業が実施されるよう適宜確認するほか、最新の通信技術を活用した防災情報システムを整備を進めてまいります。

本年も、皆さまのご理解とご協力を賜りながら町行政を進めてまいります。年頭にあたり、町民の皆さまのご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



8月9日～29日、映画『サクラサク』を台湾で上映。台湾各地の13映画館で字幕版が上映されました。



8月21日、東京海洋大学と「電池推進船」の共同研究契約を締結。再生可能エネルギーを活用した新たな遊覧船の開発・運航に向けて、実証試験やシステム開発を進めています。



8月30日、31日、福井県原子力総合防災訓練を実施。美浜発電所3号機での事故等を想定し、住民の避難や情報伝達、組織の運営等について訓練を行いました。



10月19日、20日、第32回美浜町民レガッタを開催。全11種目に町内外から238クルーが参加し、湖上で熱戦を繰り広げました。



5月27日、レインボーライン山頂公園足湯の展望台が「クールジャパンアワード2019」を受賞。翌6月には、(株)レインボーラインを含む福井県連携3事業所が「恋人の聖地 地域活性化大賞 審査員賞」を受賞しました。今春には大規模リニューアルが完了する予定で、さらなる盛り上がりが見込まれます。



8月28日、集落別対話「地域“あいあい”ほっとミーティング」がスタート。松原地区を皮切りに開催し、今年度中に全37集落での実施を目指しています。(12月16日現在、31集落で実施)



10月4日～7日、いきいき茨城ゆめ国体2019ボート競技が開催。福井県勢は練習の成果を発揮し、天皇杯(男女総合成績)6連覇、皇后杯(女子総合成績)4連覇を達成しました。

10月9日、町歴史文化館内に「祭礼学習の部屋」を開室。歴代の美浜中央小学校(旧弥美小学校)児童が作製した祭礼学習の成果作品を展示しており、弥美神社例大祭についての調査結果を見ることができます。橋本裕之氏(町伝統文化継承アドバイザー)の監修のもと、開室されました。



1月14日、美浜町成人式が挙行。色鮮やかな振袖や新しいスーツを着た新成人たちが参加し、恩師や友人と思い出話に花を咲かせたり、写真撮影をしたりと再会を楽しんでいました。

写真で振り返る 2019年の美浜町

2019年は皆さんにとってどのような1年でしたか？町では、戸嶋新町長が就任し「地域“あいあい”ほっとミーティング」を各集落で実施する等、「地域愛」を醸成するためのさまざまな施策を進めてきました。今月号では、2019年の美浜町での出来事を写真で振り返ります。



3月7日、戸嶋秀樹氏が美浜町長に就任。「みんなで創ろう 幸せと誇り・夢と希望・地域愛 あふれる『美し美浜』』という基本理念のもと、1期目となる戸嶋町政をスタートさせました。



1月24日から30日、台湾新北市石門区の石門国民中学校生徒がホームステイ事業で町を訪問。美浜中学校生と交流を深め、美浜を満喫していました。



3月17日、主要地方道佐田竹波敦賀線が一部開通。原子力災害制圧道路として、佐田-菅浜間の約2.1kmが開通しました。今春には菅浜-竹波間が開通予定です。



5月12日、第31回美浜・五木ひろしふるさとマラソンを開催。今大会ではウォーキングの部を新設。全国各地から3,042人が参加しました。



7月20日、町健康楽膳拠点施設「こるば」及び県園芸拠点施設「園芸LABOの丘」がオープン。オープニングイベントでは「美しみはま虹彩食」のふるまい等が行われ、多くの人で賑わいました。



住民税申告と所得税の確定申告は、 2月17日(月)から3月16日(月)まで

■ お問い合わせ先
敦賀税務署 ☎ 22-1010
町税務課(担当・田辺)
☎ 32-6702

パソコン・スマホから 確定申告

- ステップ①** 国税庁ホームページへアクセス
- ステップ②** 申告書を作成
- ステップ③** e-Taxで送信して提出
印刷して郵送等で税務署へ提出することもできます

メリット

- ① 24時間いつでも利用可能です。
- ② 税務署に行く必要がありません。
- ③ 自動計算されるので、計算間違いがありません。
- ④ データを保存すれば、いつでも作業を再開できます。
- ⑤ 保存したデータは翌年以降も利用できます。



- **◎住民税申告について**
- **会場** 役場 町民プラザ
- **時間** 午前9時から11時まで
午後1時から4時まで
- **※集落等での申告受け付けは、昨年度から実施しておりません。**
- **■延長受け付けについて**
申告受け付けの時間内にお越しただけでない場合は、延長受け付けを活用してください。
- **日程** 2月28日(金)
3月5日(木)、10日(火)
- **時間** 午後5時30分から8時まで
※午後7時30分までに会場にお越しください。
- **※住民税申告の受け付けに限りません。(確定申告の受け付けはできません)**

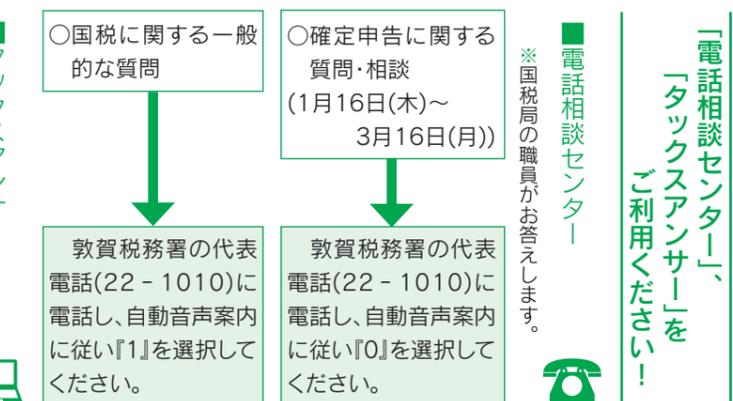
- **◎所得税の確定申告について**
- **会場** 敦賀税務署 4階
(敦賀市鉄輪町1-7-3)
- **時間** 午前9時から
午後4時まで
- **※会場の混雑状況により、午後4時前であっても受け付けを終了する場合があります。**
- **ホームページで
申告書が作成できます**
国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」では、画面の案内に従って金額等を入力すれば税額等が自動計算され、所得税及び復興特別所得税、消費税、贈与税の申告書や青色申告決算書



※e-Taxでの提出には、本人確認書類の提示または写しの添付は不要です。
国税に関するマイナンバーの詳しい情報は、国税庁ホームページ(<https://www.nta.go.jp>)のトップページ「社会保障・税番号制度(マイナンバー)」からご確認ください。

等が作成できます。
申告書等を作成した後は、同コーナーからそのまま「e-Tax」を利用して税務署に送信できるほか、自宅のプリンターで印刷して郵送等で税務署へ提出することもできます。
マイナンバーの記載にご注意ください!
令和元年分の確定申告書には、マイナンバーの記載と本人確認書類の提示または写しの添付が必要です。
(本人確認書類の例)
・マイナンバーカード
・通知カードと運転免許証等
※申告書等へのマイナンバーの記載は、申告者本人のほか、控除対象配偶者、扶養親族等も必要です。

■ **タックスアンサー**
国税庁ホームページ「タックスアンサー」では、税に関する身近な情報をお届けしています。
▼ パソコンからのアクセスはこちら
<https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/taxanswer/index2.htm>
▼ スマートホンからのアクセスはこちら
<https://www.nta.go.jp/m/taxanswer>



FMGP

ふるさと美浜元気プロジェクト

美浜東小学校・美浜中央小学校・美浜西小学校の6年生が提言 ふるさと美浜元気フォーラムを開催

12月13日に、ふるさと美浜元気フォーラムがなびあすで開催されました。

同フォーラムでは、町内の3小学校の6年生が2年計画で、ふるさと美浜の良さや課題について調査活動に取り組んできた「ふるさと美浜元気プロジェクト」の発表が行われました。各小学校からプロジェクトの取り組みについて発表があった後、これまでの調査活動から判明した町の課題やその改善策について、班ごとに壁新聞形式で発表を行いました。



美浜東小学校「美浜町PR大作戦の取組と成果について」

東小学校では「美浜町PR大作戦」として、修学旅行先で美浜町をPRする活動を4年前から行っています。4年間のPR活動の報告や活動から分かった成果と課題について発表が行われました。

美浜町PR大作戦 活動実績

平成28年度 奈良県広陵町役場
平成29、30年度 奈良県広陵東小学校
令和元年度 関西電力(株)南港発電所

取り組みの成果

- 活動を通して町の良さに気付いた
- 多くの方に町の良さを知ってもらえた
- 「伝える」ための力が向上した

▶ **今後も美浜の良さを発信する場を**



美浜中央小学校「祭礼学習と課題について」

中央小学校は、弥美神社の例大祭について発表を行いました。例大祭の準備や取材を通して、学んだことや感じたこと、今後の課題等が報告されました。

祭礼学習を通して感じた課題

- 人口減少に伴い、子どもや若者等の後継者が不足している
- 祭礼に関する知識が豊富な人は高齢者が多く、今後そうした人が減少してしまう
- 祭礼や行事等への参加者が減少しており、盛り上がりが見られていない

▶ **魅力的なまちづくりで課題解決**



美浜西小学校「空き家活用の実践について」

西小学校では、空家問題の解決のため、空家を活用したカフェを開く取り組みを行いました。空家についての調査やカフェを開くまでの準備、当日の様子等について発表が行われました。



「Nishi6 かふえ」をオープン

- 町内の空家を活用してカフェを開くアイデアを採用
- 町子育て支援センターを利用している11組の親子を招待
- 手作りのおやつやプレゼントを準備して親子をおもてなし

▶ **空家活用でみんなが笑顔に**

「美浜の未来新聞」

各小学校の発表後、児童らは班ごとに町の課題改善策を発表しました。ここでは、提案の一部を紹介します。

◆ 空き家をおもちゃレンタルハウスに!

- 子育てが終わった家庭のおもちゃを空家に持ち寄り、子育て中の方がレンタルできる場を設けてはどうか。
- 子育てが終わった方と子育て中の方の情報交換の場として活用することで、母親の悩み解決にも役立つ。

◆ 美浜町総合運動公園を活性化!

- 総合運動公園には、広いスペースがあるが遊具が少ないため、新たな遊具を設置してはどうか。
- 久々子湖に面していることから、湖を活用したイベントや遊び場を増やすことで、より魅力的な場所になる。

◆ へしこフェスティバルで町の活性化を!

- 活気あふれる美浜町にするため、子どもが楽しめるイベントを小学生が企画してはどうか。
- へしこを使った料理コンテストや廃校舎を活用したへしこテーマパーク等を開催することで、子どもをはじめとした親世代、祖父母世代の参加が期待される。



学生が美浜の魅力をもPR
横浜商科大学大学祭で美浜町ブースを出展

■ お問い合わせ先
 町まちづくり推進課(担当・志賀)
 ☎32-6701



↑来場者に〇×クイズを出題する学生

11月16日と17日に開催された横浜商科大学(横浜市)の大学祭「第52回飯山祭」にて、美浜町のPRブースが出展されました。

町と横浜商科大学は、平成29年に相互友好協力協定を締結しており、学生がフィールドワークとして町を訪れる等して交流を図ってきました。

今回のブース出展では、同大学の竹田育広教授のゼミで観光マネジメントを学んでいる学生らが主体となって準備を進めてきました。

当日のブースでは、レインポライインの景色を背景に撮



↑へしこちゃんと写真撮影する来場者

影できるインスタ映えスポットの設置や町の特産品が当たる〇×クイズ、へしこの試食等が行われ、多くの来場者が訪れていました。

学生らは、美浜町の法被やへしこちゃんの着ぐるみを着て、身振り手振りを交えながら来場者に美浜町の魅力をPRしていました。

同ゼミの学生らは、令和2年1月頃に町を訪れてフィールドワークを行う予定で、美浜の魅力体験しながら新たな観光資源の発掘やプロモーションの手法等について研究していきます。

第71回人権週間
街頭啓発キャンペーン出発式を実施

■ お問い合わせ先
 町住民環境課(担当・馬野)
 ☎32-6703



↑出発式に出席したキャンペーン隊の皆さん

12月4日に、第71回人権週間街頭啓発キャンペーンの出発式が町役場で行われました。

国では、12月4日から10日までの1週間を「人権週間」と定めており、今回のキャンペーンも人権週間に合わせて実施されました。

出発式では、戸嶋町長が「町内各事業所や保育園等、あらゆるところでキャンペーンを行っていることが、町民の皆さんの人権意識高揚につながる。非常にありがたい。感謝の気持ちをお願いします。」とあいさつし、街頭啓発に向かわれる皆さんに感謝の気持ちを伝えました。



↑町内の事業所を訪れ啓発物品を配布するキャンペーン隊

また、キャンペーン隊の出発にあたり、町人権尊重啓発協議会の河合会長が「このキャンペーンでは、人権週間の開始に合わせて町内をくまなく回る。町内の皆さんに、人権擁護の大切さや人権週間の意義等について広く訴えていきたい」と出発にあたっての意気込みを述べられました。

出発式終了後、キャンペーン隊は3班に分かれて街頭啓発に向かい、町内企業や保育園、学校等、町内全域を巡って人権週間の啓発や啓発物品の配布を行いました。

令和元年度福井県更生保護功労者顕彰式典
永井智海氏が更生保護功労法務大臣表彰を受賞

■ お問い合わせ先
 ・町住民環境課(担当・青池)
 ☎32-6703



↑法務大臣表彰を受賞した永井さん

敦賀地区の保護司として、犯罪や非行をした人々の改善・更生や犯罪の予防等に、長年にわたり尽力された功績を称え、永井智海さん(佐田)が更生保護功労法務大臣表彰を受賞されました。

同表彰は、更生保護制度施行70周年を記念して11月26日に開催された「令和元年度福井県更生保護功労者顕彰式典」にて伝達されました。

永井さんは、保護司として10年以上活動されており、当町においても更生保護事業や「社会を明るくする運動」等、多くの活動に尽力されています。

受賞した永井さんは「誰かに話したい気持ちや話そうとする気持ちを引き出してあげ

ること、話していただくことに重きを置いて活動をしてきました。これからも、相手に『よりそう』ということを大切にしていきたいです」と、これまでの活動を振り返りながら話されました。

また、同式典では更生保護功労者として、永井さんの他に次の方々に対して感謝状や表彰が伝達されました。

- 福井保護観察所長表彰 高木剛氏(新庄)
- 県保護司会連合会長表彰 森川良子氏(坂尻)
- 法務大臣感謝状 (社会を明るくする運動 民間協力者) 美方ケーブルネットワーク(株) ※町関係者のみ掲載

民生委員・児童委員及び主任児童委員の
一斉改選に伴う感謝状贈呈式・委嘱状伝達式を実施

■ お問い合わせ先
 ・町福祉課(担当・関口)
 ☎32-6704

12月2日に、民生委員・児童委員及び主任児童委員の一斉改選に伴う感謝状贈呈式・委嘱状伝達式が行われました。

民生委員・児童委員は、地域福祉の向上や児童の健全な成長等を目的に厚生労働大臣より委嘱されるもので、地域での相談・支援活動や見守り活動を行う等、行政や社会福祉協議会と連携して、社会福祉の増進や健全な地域社会づくりに努めています。

感謝状贈呈式では、6年以上委員を務められた10人に厚生労働大臣感謝状及び町長感謝状が、3年以上委員を務められた29人に県知事感謝状及び町長感謝状が授与されました。

続く委嘱状伝達式では、再任の8人を含めた46人の方に委嘱状が交付され、委員を代表して芝井あさ子さん(再任・4期目)が委嘱状を受け取りました。

委嘱状の交付にあたって、戸嶋町長は「子どものいじめや高齢者の孤独死等の問題が社会全体で取り上げられており、社会福祉の重要性を改めて認識している。昨今は、少子高齢化や人口減少が進行



↑代表して委嘱状を受け取る芝井さん

し、さまざまな事象が発生している。町社会福祉協議会や委員の方、地域の方と連携を深めて地域福祉の向上に努めていきたい」とあいさつしました。

また、町社会福祉協議会の坂田会長は「少子高齢化により困難な問題を抱えている方は多数おり、委員の皆さんには多岐にわたる相談があると思う。職務にあたっては不安を感じることもあると思うが、一人で抱えることなく、福祉委員会や役場、社協等、周囲の方に相談していただき」と述べられました。